



2020年10月2日

各位

会社名 株式会社カンセキ
 代表者名 代表取締役社長 大田垣 一郎
 (コード番号: 9903 東証 JASDAQ)
 問合せ先 執行役員 経理部長 村山 和弘
 (電話 028-659-3112)

業績予想及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年4月10日に公表いたしました業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2021年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年3月1日~2020年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,900	936	871	517	74.37
今回修正予想(B)	20,458	1,586	1,528	943	135.57
増減額(B-A)	1,558	650	657	426	
増減率	8.2%	69.4%	75.4%	82.4%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年2月期第2四半期)	17,798	845	784	492	70.36

2021年2月期通期連結業績予想数値の修正(2020年3月1日~2021年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,200	1,770	1,674	1,034	148.71
今回修正予想(B)	39,758	2,420	2,331	1,460	209.92
増減額(B-A)	1,558	650	657	426	
増減率	4.1%	36.7%	39.2%	41.2%	
(ご参考)前期実績 (2020年2月期)	36,304	1,744	1,643	1,015	145.39

2021年2月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（2020年3月1日～2020年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	18,891	930	865	513	73.72
今回修正予想（B）	20,448	1,579	1,521	939	134.99
増減額（B－A）	1,557	649	656	426	
増減率	8.2%	69.8%	75.8%	83.0%	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2020年2月期第2四半期）	17,788	838	776	487	69.69

2021年2月期通期個別業績予想数値の修正（2020年3月1日～2021年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	38,182	1,756	1,660	1,025	147.40
今回修正予想（B）	39,739	2,405	2,316	1,451	208.63
増減額（B－A）	1,557	649	656	426	
増減率	4.1%	37.0%	39.5%	41.6%	
（ご参考）前期実績 （2020年2月期）	36,286	1,732	1,631	1,007	144.26

修正の理由

ホームセンター事業においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、感染対策としての殺菌消毒・衛生用品等に集中して購買が起きた他、ゴールデンウィークでは外出自粛要請に伴い、消費者の在宅時間が増えたことからDIY関連商品や園芸用品の需要が高まりました。

WILD-1事業においては、緊急事態宣言による休業要請指定業種になったことから休店を余儀なくされましたが、要請解除後はアウトドア用品を中心に好調に推移いたしました。

専門店事業においては、業務スーパーで業務用の需要は減少しましたが、個人消費者の巣ごもり需要により好調に推移いたしました。

以上の理由により、第2四半期累計期間の業績は前回予想を上回る結果となりました。

また、第3四半期以降につきましては、新型コロナウイルス感染症による景気の下振れリスク、個人所得や雇用の悪化リスクなど、先行きが不透明な状況が続くと思われまます。このため、下半期については、2020年4月10日発表時の業績予想を据え置くこととし、第2四半期累計期間及び通期の業績予想数値を上記のとおり修正いたします。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2020年4月10日発表)	—	7.50	—	7.50	15.00
今回修正予想	—	10.00	—	10.00	20.00
当期実績	—				
前期実績 (2020年2月期)	—	5.00	—	7.50	12.50

修正の理由

当社は、業績の状況、将来の持続的な事業の成長、発展のための内部留保の充実、財務体質等を総合的に勘案し、株主の皆様へ安定した配当を行うことを基本としております。

当期の配当につきましては、現状の事業推移を踏まえ、上記のとおり中間配当予想及び期末配当予想について、それぞれ1株当たり2円50銭の増額修正をすることといたしました。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、これらの予想数値とは異なる可能性がございます。

以 上